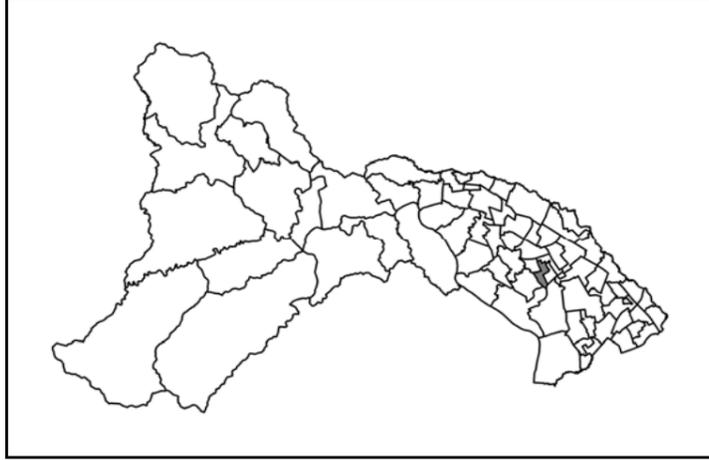


○地区を構成する町丁

【中央区】光が丘2丁目・3丁目、陽光台5丁目～7丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

光が丘(光が丘中央, 杉の子, 上溝団地1, 2区, 上溝団地3, 7区, 上溝団地4区, 上溝団地6区A, 上溝団地6区B, 上溝団地9区, 上溝団地10区, 上溝団地11区, 自治会法人陽光台5丁目, 自治会法人虹ヶ丘)

○地区概況

台地(上段)にあり、西端は段丘崖である。中央部を県道507号相武台相模原線が南北に通る、地区を東西に分けている。ほとんどが住宅地であり、一戸建住宅が多いが、東部には低層集合住宅がある。

○建物数・人口

建物		区分		建物(棟数)	
建物	木造(昭和55年以前)	392棟		[Bar chart showing 392 units]	
	木造(昭和56年以降)	797棟		[Bar chart showing 797 units]	
	非木造(昭和55年以前)	363棟		[Bar chart showing 363 units]	
	非木造(昭和56年以降)	205棟		[Bar chart showing 205 units]	
	合計	1,757棟		[Bar chart showing 1,757 units]	
人口		区分		人口(人)	
人口	0~4歳	252人		[Bar chart showing 252 people]	
	5~64歳	4,087人		[Bar chart showing 4,087 people]	
	65歳以上	2,005人		[Bar chart showing 2,005 people]	
	合計	6,344人		[Bar chart showing 6,344 people]	

○所見

- ・全体に整然とした区画の宅地で、生活道路は幅4m以上確保されているところが多い。
- ・県道507号相武台相模原線は、片側2車線と歩道のある広幅員道路で、沿道は不燃化が進んでいる。
- ・富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	県企業庁相模原水道営業所, 陽光台公民館
警察署	
消防署	
消防団詰所	
病院等	
主な災害時要援護者施設	パステルパレット, 就労支援センター ギフト, 生活介護事業所 ギフト, 社会福祉法人相模福祉村 青空, 児童デイサービス グリムハウス光が丘, グループホーム アルプスの杜 陽光台, 児童デイサービス グリムハウス, 居宅介護サービス「祥」
幼稚園、保育園	上溝保育園, 虹ヶ丘幼稚園, 中央幼稚園
学校、大学	光が丘小学校
避難所	光が丘小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	光が丘小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

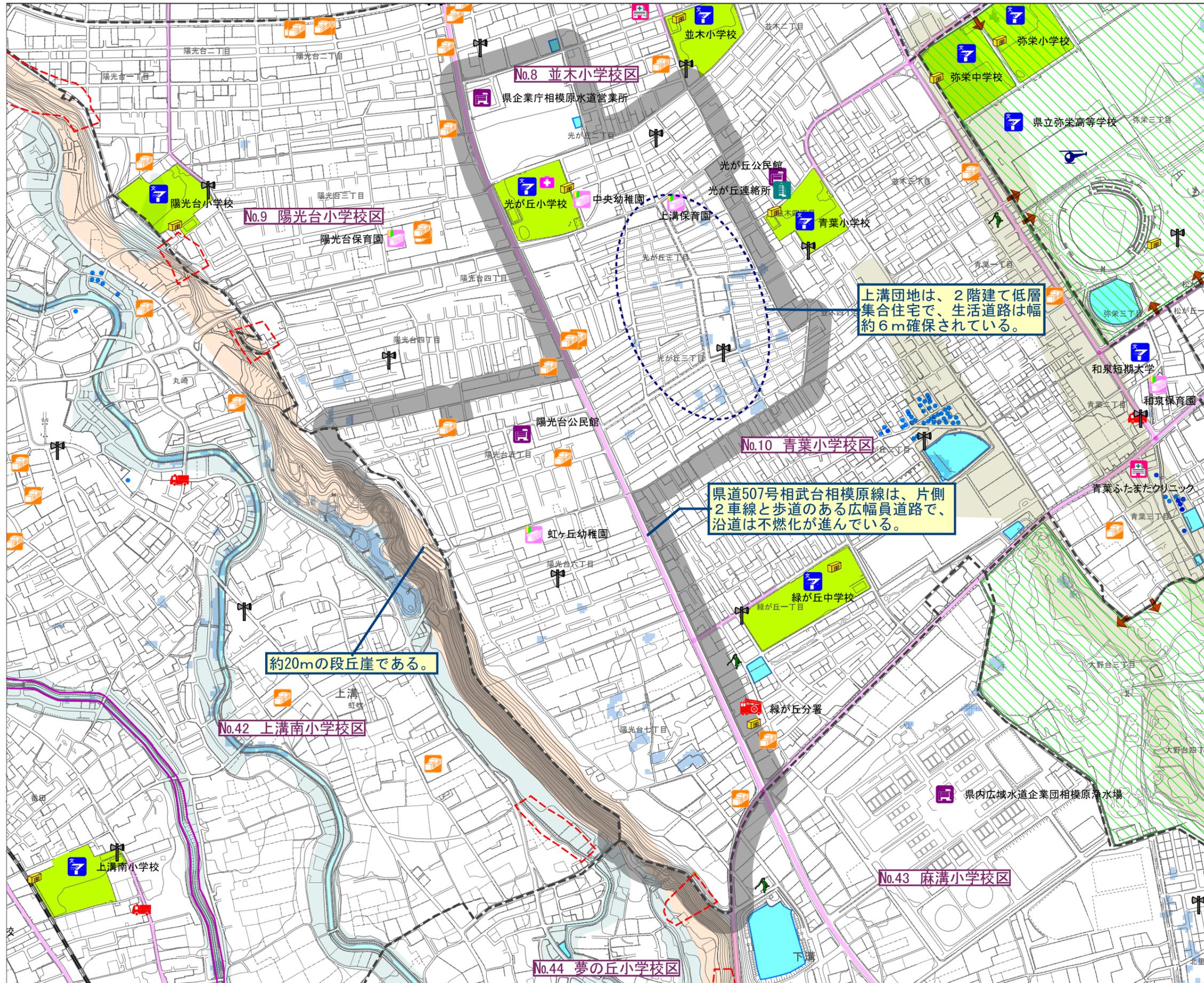
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	89棟	5.1%	28棟	1.6%	14棟	0.8%
建物焼失	25棟	1.4%	1棟	0.1%	0棟	0.0%
死者	5人	0.1%	1人	0.0%	1人	0.0%
閉込者	35人	0.5%	12人	0.2%	6人	0.1%
重傷者	10人	0.2%	4人	0.1%	2人	0.0%
軽傷者	60人	0.9%	34人	0.5%	24人	0.4%
避難所避難者(当日)	296人	4.7%	106人	1.7%	63人	1.0%
避難所避難者(1週間後)	604人	9.5%	366人	5.8%	279人	4.4%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	[Progress bar]
土砂災害	[Progress bar]
地震による地盤災害	[Progress bar]
地震による建物被害、火災	[Progress bar]

○近年の主な災害履歴

平成 3年 9月19日 土砂災害1箇所



地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

